

2026-2027年度 会長挨拶及び指針



入間ロータリークラブ

第68代会長 繁田 光

この度、歴史と伝統のある入間ロータリークラブの第68代の会長を務めさせて頂くこととなりました。

国際ロータリー第2570地区の中でも指折りの、68年の歴史を誇る入間ロータリークラブの会長という重責に、身の引き締まる思いであると共に、チャーターメンバーである祖父、繁田正一 PG をはじめとする諸先輩方の築いてきた、友情と奉仕の理念をしっかりと継承できるよう、全力を尽くす所存でございます。

2026-2027年度のオイランカ・ハキーム・ババララ国際ロータリー会長のメッセージは、

「Create Lasting Impact～持続可能なインパクトを生み出そう」です。

国際ロータリー第2570地区、原島生慈ガバナーの地区活動方針は、

「ロータリー活動に誇りを！」であります。

前年度のRI会長メッセージの「Unite For Good」と今年度の「Create Lasting Impact」は別々の内容のメッセージでは無く、Unite（団結）して、より大きなGood（良いこと）を行い、その成果を未来に残る価値へと昇華させ、その到達したところが、社会に対するImpact（影響・効果）であると理解できます。

私たちロータリアンが、ロータリアンとしての「誇り」を持って取り組む、奉仕活動や会員増強活動も、実施した瞬間の成果で終わらせず、世界や地域の中で根づき、継続し、次の世代へつなげて積み重ねていくとこで、「持続可能なインパクト」に高めていくことができ、そのことが更に「誇り」を高める事になるのではないのでしょうか。

今年度、入間ロータリーは、大きな変化を求められる年度であります。会員の皆様に満足していただけるよう努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

活動方針

- ・ 会員増強及び退会防止に努めます（純増2名）
- ・ ラーニング委員会の家庭集会、例会の会長の時間等を利用して、会員（特に新会員）のロータリーへの理解を深めます。
- ・ 例会場の変更に伴う様々な問題点を解決し、不便なく満足できる例会運営を目指します。
- ・ 年会費の見直し等、未来への持続性を考慮したクラブ運営の仕組みを構築します。
- ・ 親睦旅行、夜間例会等を開催し、会員同士の親睦を深めます。
- ・ 国際大会、地区大会、第3グループ合同例会に積極的に参加します。
- ・ 入間市教育委員会を通じ、市内の各小中学校に教育資材を寄贈することにより、地域の未来への貢献をすると共に、ロータリーの公共イメージを高めます。
- ・ ロータリー財団の地区補助金を活用し、フードバンク入間と連携してチャリティ事業を行い、重点課題である「子供の貧困」の解決への一助とします。
- ・ ポリオ根絶活動として、スリーデーマーチへ参加すると共に、昨年度開催したポリオ撲滅チャリティコンサートを次年度に開催できるよう準備をします。
- ・ 米山記念奨学生の受け入れを行い、また、米山記念奨学事業への理解を深めます。
- ・ 新設される「いるまローターアクトクラブ」の活動を支援し、次世代のロータリアンの育成に努めます。
- ・ 「我らの生業」の会員卓話を行い、職業の内容を知ることによって、会員同士の理解を深めます。
- ・ 戦略計画委員会により、ロータリー活動の継続性を実現します。